
雛祭り

紅月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

雛祭り

【Nコード】

N6155B

【作者名】

紅月

【あらすじ】

雛祭りについて話す幼馴染みのお話。

「ねえ、綾人。今日は雛祭りだね。」

奈美が何を思ったのか突然そんな事を言い出した。奈美が突発的な事を言う理由はいつも決まっている。

「だからなんだってんだ。」

綾人は知らん振りをしてそう言った。

綾人と奈美は長い付き合い、というか幼馴染みなので勿論奈美がいきなりそんなことを言う理由を知っている。

「だからなんだってんだ。じゃないわよ!!」

雛祭りって言えば女の子の日じゃない。なんかちよーだい!」

と、奈美は綾人に向かって手を突き出した。

綾人は大きく溜め息をつき

「雛祭りだからって、俺が奈美になにかやる理由にはならないだろ。」

「男なんたから細かい事気にしてんじゃないわよ。」

なんかちよーだい。」

奈美は綾人にずいずい詰め寄って来た。

「まてまて。そもそものちよーだてのはなんなんだよ。」

お前ハロウインの時もにたような事言っただけやったら投げ返して来ただろ。」

「飴なんてケチすぎんよ。もっとケーキとかちよーだいって言うってんの!!」

綾人はまた大きく溜め息をつき

「俺今金無いんだよ。」

「知ってんのよ。一昨日給料日だったって!」

しかも綾人、2月頑張ってたもんねー バイト!」

妖しく笑う奈美に綾人は観念したらしく

「分かったよ。何がいいんだ。」
と言った。

「いやったー!! さすが綾人!!
あたし欲しいものがあったの。だから今日は一日中あたしに付き合
ってもらうからね!!」

といい、綾人の腕をつかんで走り出した。

「おい、ちょっと待って!!」

平和な土曜日のことだった。

綾人はこうしていつも奈美に振り回されているのだ。

（後書き）

読んでくださって誠に有り難うございました。

突発的に書いて、時間もそんなにかかってないので変なところがあるかも知れませんが、すみませんでした。

それと、これは昨日投稿したのですが、間違えて消してしまったのでまた投稿させていただきました。

感想など貰えると嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6155b/>

雛祭り

2010年10月13日12時28分発行